

愛産研 ニュース 増補版

愛産研ニュース(増補版)

平成16年10月5日発行

No.11

編集・発行

愛知県産業技術研究所 企画連携部

〒448-0003 刈谷市一ツ木町西新創

TEL 0566(24)1841・FAX 0566(22)8033

URL <http://www.aichi-inst.jp/>

E-mail info@mb.aichi-inst.jp

10月号
2004

今月の内容 ●歩行者ITS

- パルス通電焼結法による窒化ケイ素の焼結
- プラスチック眼鏡レンズ用耐衝撃ハードコート
- ニッケル-タンゲステン合金めっきの熱処理による影響

歩行者ITS

自動車交通に対するITS(Intelligent Transport Systems:高度道路交通システム)の導入が進展する中、歩行者に対するITSの活用にも大きな関心が寄せられています。また、高齢者や障害者の社会参加に社会システムの対応が求められており、2000年には「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」が成立し、交通機関のバリアフリー化が進んでいます。

このような背景のもと、歩行者ITSは、高齢者や障害者を含む歩行者等が安全・安心・円滑に移動できる環境を提供するシステムとして開発が進められています。地上に設置するインフラ機器と利用者の端末器を用いて、歩行者等に現在位置を伝えたり、段差や危険箇所などの状況を目の不自由な方や高齢者に知らせ、歩行者等のニーズに対応した経路案内や、公共交通機関などに関する情報も提供するなど総合的な機能を目的としています。

しかし、高齢者・身体障害者等を主な対象としたこれらのサービスを実現するためには、まだ解決すべきいくつかの課題が挙げられます。例えば、位置特定技術(視覚障害者を対象とする場合は誤差数10cm以内の精度が

必要)、図データの整備(危険箇所や車いすの通行可否等、高齢者・身体障害者が必要とする情報を納めた地図データ)、端末の開発(高齢者、視覚障害者など、利用者の特性に合わせた端末が必要)などです。

愛知県下においても、肢体不自由者を含む歩行者のための歩行者経路検索サービス「名古屋歩行者ナビゲーション〔歩鯨(ほこ)ナビなごや〕」が、名古屋市と国土交通省中部地方整備局により社会実験として行われています。(下図参照)

これから迎えようとしている高齢化社会を安全・安心・便利に過ごすために、「歩行者ITS」への期待は非常に大きいといえます。



図 歩行者ナビゲーションの例(名古屋市)
<http://www.hokonavi.city.nagoya.jp/>



工業技術部 機械電子室 室田修男 (nobuo_murota@pref.aichi.lg.jp)

研究テーマ: 電動福祉機器用 ITS の開発

指導分野: 電磁環境対策、電波利用技術